

令和元年度 幌加内町決算審査特別委員会 第3日目

令和2年10月28日（水曜日）

○出席委員（ 8名）

委員長	7番	中村雅義君			
	2番	市村裕一君（副委員長）	8番	小関和明君（副委員長）	
	1番	中川秀雄君	3番	中南裕行君	
	4番	藤井祐君	7番	蔵前文彦君	
議長		小川雅昭君			

○欠席委員（ 0名）

○出席説明員

町	長	細川雅弘君
副町	長	大野克彦君
総務課	長	村上雅之君
産業課	長	中河滋登君
建設課	長	宮田直樹君
住民課	長	山本久稔君
地域振興室	長	新江和夫君
会計管理者		蔵前裕幸君
保健福祉課	長	竹谷浩昌君
保健福祉課	副主幹	北村康栄君
保健福祉課	副主幹	伊藤理加君
介護保険係	長	北村卓也君
あんしん介護係	長	小本剛君
診療所庶務係	長	相澤雅彦君
企画調整係	長	伊藤宗徳君

○出席事務局職員

事務局	長	加藤誠一君
書	記	岡田由美君

◎3日目 審査開会の宣告

○委員長（中村雅義君） ただいまの出席委員数は7名であります。

定足数に達していますので、令和元年度決算審査特別委員会を再開いたします。

◎開議の宣言

○委員長（中村雅義君） これから本日の委員会を開きます。

◎一般会計 歳出 審査の開始（保健福祉課・診療所所管）

出席者：保健福祉課長（竹谷浩昌君）、保健福祉課副主幹（北村康栄君）、
保健福祉課副主幹（伊藤理加君）、介護保険係長（北村卓也君）、
あんしん介護係長（小本剛君）、診療所庶務係長（相澤雅彦君）

○委員長（中村雅義君） 一般会計 歳出「3款 民生費、4款 衛生費、」を一括して審査を行います。

説明の発言を許します。

○保健福祉課長（竹谷浩昌君） 保健福祉課長。

○委員長（中村雅義君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（竹谷浩昌君）

歳出、98 ページ、99 ページをお開き下さい。保健福祉課関係部分を説明します。3款1項1目、社会福祉総務費、予算現額 6403 万 8000 円に対し、支出済額 5866 万 8003 円、不用額 176 万 9997 円です。13 節、福祉除雪業務委託料 387 万 7637 円ですが、対象高齢者世帯 38 世帯、前年比 2 世帯の減となっています。19 節、介護人材確保支援事業補助金 442 万 1200 円ですが、ひとり親シングルペアレント 6 名と介護事業所 3 事業所への補助金です。昨年度より 1 名増となっており、これまで 6 世帯 16 名の永住となっています。老人家庭等除雪費助成金 232 万 5000 円ですが、高齢者世帯 91 世帯、50 世帯、4 世帯に対して助成をしたところです。老人家庭等福祉灯油代助成金 114 万 8000 円ですが、高齢者世帯 153 世帯、身障者世帯はありません。母子世帯、6 世帯それから低所得者世帯 5 世帯に対して助成を行っています。保養センター入館料助成金 54 万 8000 円ですが、利用者延べ 2192 名に対して助成を行っています。昨年は、ルオントの改修に伴い 11 月から休館となったため減少の数字となっています。2 目、老人福祉費、予算現額 9574 万 3000 円に対し、支出済額 9372 万 1949 円、不用額 202 万 1051 円です。8 節、高齢者福祉手当 247 万円ですが、非課税世帯の 70 歳以上の高齢者 247 名に対し支給しているところです。11 節、特別修繕料 206 万 8280 円ですが、老人福祉寮福寿荘の各個室の電気温水器の交換 123 万 2280 円、9 台の更新です。ナースコールの更新 83 万 6000 円の内訳です。13 節、高齢者生活福祉センター運營業務委託料 2532 万 8993

円ですが、アルク居住部門及びデイサービス部門を社会福祉協議会へ委託をしているものです。デイサービス事業では、登録者 27 人、年間利用者延べ 2021 人、予防事業となる総合事業は登録者 21 人、年間利用者延べ 742 人、居住部門では 18 名の方が入居となっています。食の自立支援業務委託料 603 万 400 円ですが、登録者数 29 名、配食数延べ 7538 食の実績です。18 節、公用車購入費 253 万 4760 円ですが、北部地域包括ケアセンターで使用している乗用車を更新したものです。今回は 5 人乗りから 8 人乗りワゴンへ更新をして利便性を図っています。備品購入費 64 万 900 円ですが、アルク厨房で使用をしている炊飯ジャー 2 台、ガスコンロ 1 台の更新としています。19 節、在宅福祉事業補助金 285 万 7010 円ですが、移送サービス登録者 162 人、延べ 859 回、電話サービス登録者 4 人、布団乾燥サービス 28 セットの実績です。老人福祉寮管理運営補助金 1635 万 134 円ですが、福寿荘の運営補助で現在定員 10 名のところ満室であります。北部地域包括ケアセンター管理運営補助金 1787 万 6000 円ですが、朱鞠内老人福祉寮延寿荘小規模多機能居宅介護サービスの指定管理にかかる補助金で登録者 13 人、延寿荘、現在 13 人の満室となっています。3 目、障害者福祉費、予算現額 5058 万 6000 円に対し、支出済額 4878 万 8748 円、不用額 377 万 7259 円です。19 節、難病患者通院費助成金 9 万 1830 円ですが、対象者 9 人、延べ 44 回利用、障害者通所費助成金 14 万 9910 円ですが、対象者 5 人、延べ 282 回利用、障害者通院交通費助成金 10 万 2480 円ですが、対象者 6 人、延べ 42 回の利用、在宅障害児療養費助成金 5 万 9715 円ですが、対象者 4 人、延べ 57 回の利用となっています。20 節、介護給付訓練等給付費 4309 万 2075 円ですが、訪問系サービス 2 人、日常生活系 11 人、居住系 13 人の実績となります。7 目、保健福祉センター管理費、予算現額 3538 万円に対し、支出済額 3504 万 3623 円、不用額 133 万 6377 円です。11 節、修繕料 164 万 9346 円ですが、主なものとしては、アルク居住の室内修繕 2 室 94 万 6830 円、居室木戸のダンパ 9 ヶ所取り換えで 24 万 2000 円、ろ過装置の制御盤修繕 31 万 4280 円です。特別修繕料 464 万 9600 円ですが、アルク正面玄関の自動ドア装置修繕 99 万 3600 円、アルクの配膳室改修 81 万 4000 円、アルクのナースコール更新 187 万円、ろ過装置循環ポンプ取り換え 97 万 2000 円の内訳です。18 節、備品購入費 96 万 9732 円ですが、保健福祉センターで使用していました除雪機を更新したものです。8 目、プレミアム付商品券事業費、予算現額 271 万 6000 円に対し、支出済額 249 万 1904 円、不用額 22 万 4096 円です。プレミアム付商品券事業については、消費税率 10 パーセント引上げに伴い低所得者、子育て世代の消費に与える緩和という事で実施したもので、25 パーセントのプレミアム付商品券を発売した事業です。需用費の全額については、国からの補助となっています。13 節、ほろかない福祉消費券事業委託料 90 万円ですが、消費券の事業、これを商工会に委託して商品券の販売、換金、事務処理などの委託料となっています。19 節、ほろかない福祉消費券事業補助金 34 万 5000 円ですが、1 セット 1000 円のプレミアム分で 345 セット分を商工会へ支出したものです。低所得者の申請者 79 人、子育て 22 人となっています。2 項 1 目、児童福祉総務費、予算現額 1972 万 7000 円に対し、支出済額 1945 万 6086 円、不用額 27 万 914 円です。8 節、遺児手当 44 万 2000 円ですが、13 世帯へ支給したところです。児童出産祝金 10 万円ですが、1 件分です。児童養育手当 200 万 8000 円ですが、14 世帯へ支給をしています。13 節、季節保育運営業務委託料 529 万 1000 円ですが、朱鞠内みゆき保育所で 2 名の入所に対する委託料です。地域子育て支援拠点事業運営業務委託料 38 万 991 円ですが、ふれあい保育として週 1 回実施し、延べ 36 回開設した委託料です。幌加内学童保育所運営業務委託料 250 万 6902 円ですが、入所児童 16 名に対する委

託料です。15 節、幌加内学童保育所改修工事 482 万 7600 円ですが、旧医師住宅を学童保育所として利用することとしたことから実施した改修工事となっています。19 節、保育人材確保支援事業補助金 314 万 5000 円ですが、令和元年度から実施した事業ですが、保育士手当として双葉保育園の保育士 8 名、みゆき保育所保育士 2 名分を各事業所へそれぞれ補助したものです。副食費無料化事業補助金 37 万 8000 円ですが、昨年 10 月からの実施となった保育料の無償化に伴い 3 歳児以上の対象の園児 14 名に対する副食費の負担分を双葉保育園へ補助したものです。2 目、児童扶助費、予算現額 5751 万円に対し、支出済額 5750 万 8280 円、不用額 1720 円です。20 節、保育所運営費 4368 万 9280 円ですが、双葉保育園の入所園児、月平均 38.2 人、この運営に対する運営費です。児童手当費 1380 万 5000 円ですが、対象児童 111 名に対して支給したところです。3 項 1 目、災害救助費、科目存知のため特に説明はありません。4 款 1 項 1 目、保健衛生総務費、予算現額 366 万円に対し、支出済額 241 万 1892 円、不用額 124 万 8108 円です。18 節、備品購入費 4 万 3200 円ですが、保健福祉センターの健康指導室の和室ですが使用していますテレビを更新したものです。19 節、妊婦健診事業助成金 3 万 2010 円ですが、対象者 1 名に対して助成をしています。妊産婦健診等交通費助成金 15 万 400 円ですが、6 名に対して助成をしています。産婦健診事業助成金 5000 円ですが、対象者 1 名に対して助成をしています。新生児聴覚検査助成金 1 万 2620 円ですが、対象者 3 名に対して助成をしています。不妊治療費助成金 42 万 1070 円ですが、対象者 4 名に対して助成をしています。2 目、予防費、予算現額 554 万 7000 円に対し、支出済額 471 万 5039 円、不用額 83 万 1961 円です。19 節、肺炎球菌予防接種助成金 1 万 6000 円ですが、2 名に対して助成をしています。乳幼児任意予防接種助成金 18 万 5500 円ですが、おたふくで 5 名、ロタウイルス 6 名、B 型肝炎 3 名に対して助成をしています。インフルエンザ予防接種助成金 230 万 8600 円ですが、中学生以下 127 名、大人 649 名に対して助成をしています。風疹予防接種助成金 1 万 6000 円ですが、2 名に対して助成をしています。日本脳炎予防接種助成金 5300 円ですが、1 名に対して助成をしています。3 目、健康増進費、予算現額 276 万円に対し、支出済額 237 万 8273 円、不用額 38 万 1727 円です。13 節、ガン健診委託料 148 万 2964 円ですが、結核肺がん健診 120 名、胃がん健診 63 名、大腸がん検診 114 名、子宮がん検診 53 名、乳がん検診 59 名の検診委託料です。基本健診委託料 27 万 5438 円ですが、30 代の健康診査としての実施で 20 名に対する委託料です。19 節、人間ドック受診助成金 42 万 5960 円ですが、22 名に対して助成をしています。4 目、診療所費の内、歯科診療所、各診療所関係について説明をします。予算現額 1 億 2576 万 2000 円に対し、支出済額 1 億 1696 万 3325 円、不用額 879 万 8675 円です。11 節、修繕料 196 万 5935 円の内、診療所関係分は 153 万 8070 円となります。主なものとしては、歯科診療所の診療器具修繕 23 万 7262 円、玄関ドアのフロアヒンジ交換 16 万 920 円、朱鞠内診療所の車庫解体 15 万 4440 円、マンホール修繕で 11 万 160 円、建具網戸取付等 15 万 1200 円、幌加内診療所の室内掲示板の取り換え 9 万 3960 円となっています。15 節、幌加内診療所電飾看板設置工事 37 万 2600 円ですが、診療所の施設名の看板が非常に見えにくいとのご意見を頂き、電飾の看板へ取り換えたものです。18 節、朱鞠内診療所備品購入費 51 万 4360 円ですが、エアコン 1 台設置 41 万 3640 円、冷蔵庫 1 台 7 万 4800 円、薬品用です。木製収納庫 1 台 1 万 6200 円、扇風機 1 台 9720 円の購入費です。幌加内診療所備品購入費 146 万 592 円ですが、薬局で使用している電子天秤測り 1 台 7 万 2900 円、研修医住宅として借り上げている民間賃貸住宅への住宅のソファ、テーブル、ベッド、冷蔵庫、洗濯機、テレビ等

の購入費として138万7692円となっています。

○委員長（中村雅義君） それでは説明が終わりました。これから質疑に入ります。

委員各位に申し上げます。質疑は挙手の上、起立をもって簡潔明瞭にお願いいたします。

「3款 民生費、1項 社会福祉費、1目 社会福祉総務費」98ページから質疑を受けます。
98ページ、99ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 100ページ、101ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 102ページ、103ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 104ページ、105ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 106ページ、107ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 108ページ、109ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 110ページ、111ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 112ページ、113ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 114ページ、115ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 116ページ、117ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 118ページ、119ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 120ページ、121ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 3款、全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 「4款 衛生費、1項 保健衛生費、1目 保健衛生総務費」122ページから質疑を受けます。

○委員長（中村雅義君） 122ページ、123ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 124ページ、125ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 126ページ、127ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 128 ページ、129 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 130 ページ、131 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 132 ページ、133 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 134 ページ、135 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 136 ページ、137 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 138 ページ、139 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 4 款、全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

◎介護保険特別会計 審査の開始(保健福祉課所管)

出席者:保健福祉課長(竹谷浩昌君)、保健福祉課副主幹(北村康栄君)、

保健福祉課副主幹(伊藤理加君)、介護保険係長(北村卓也君)

あんしん介護係長(小本剛君)、診療所庶務係長(相澤雅彦君)

○委員長(中村雅義君) 引き続きまして、介護保険特別会計の審査を行います。説明の発言を許します。

○保健福祉課長(竹谷浩昌君) 保健福祉課長。

○委員長(中村雅義君) 保健福祉課長。

○保健福祉課長(竹谷浩昌君)

歳出、12 ページ、13 ページをお開き下さい。1 款 1 項 1 目、一般管理費から、3 項 2 目、認定調査費まで特に説明はありません。2 款 1 項 1 目、居宅サービス給付費、この説明の前に保険給付費の相対人数について説明をします。令和元年度末、第 1 号被保険者ですが 584 名、前年比 10 名の減です。介護認定者数は要支援 1 で 20 名、前年比 12 名の減、要支援 2 で 10 名、前年比 1 名の減、要介護 1 で 34 名、前年比 4 名の増、要介護 2 で 11 名、前年比 1 名の減、要介護 3 で 7 名、前年比 3 名の減、要介護 4 で 12 名、前年比同人数です。要介護 5 で 9 名、前年比増減 0 です。要支援、要介護あわせて総数 103 名、前年比 13 名の減となっています。2 款 1 項 1 目、居宅サービス給付費、予算現額 1748 万 2000 円に対し、支出済額 1510 万 561 円、不用額 238 万 1439 円、前年比 8.6 パーセントの減です。訪問通所福祉用具の貸し付けなど延べ 1112 件となっています。2 目、地域密着型サービス給付費、予算現額 1 億 830 万 4,000 円に対し、支出済額 1 億 830 万 3057 円、不用額 943 円、前年比 5.6 パーセントの増となっています。老人福祉施設特養分 312 件、小規模多

機能居宅サービス延べ154件、年度末登録者数13名、通いで2281名、訪問で2476名、宿泊1032名の実績となっています。3目、施設サービス給付費、予算現額967万円に対し、支出済額823万8922円、不用額143万1078円、前年比5.1パーセントの減。年度末入所者、特養2名、老健1名となっています。4目、福祉用具購入費、予算現額22万7000円に対し、支出済額21万1170円、不用額1万5830円、前年比60パーセントの減で5件の実績です。5目、住宅改修費、予算現額58万8000円に対し、支出済額29万1111円、不用額29万6889円、前年比22.5パーセントの減で7件の実績です。6目、居宅サービス計画給付費、予算現額442万円に対し、支出済額418万4060円、不用額23万5940円、前年比14.3パーセントの増で延べ229件となっています。2項1目、高額サービス費、予算現額350万円に対し、支出済額289万9327円、不用額60万673円、前年比19.8パーセントの減となっています。延べ311件の実績です。2目、高額医療合算サービス費、予算現額20万円に対し、支出済額17万1234円、不用額2万8766円、前年比14.9パーセントの減、延べ8件の実績です。3項1目、特定入所者サービス費、予算現額1322万8000円に対し、支出済額1267万6476円、不用額55万1524円、前年比0.2パーセントの増、食費259件、居住費259件の実績です。3款1項1目、財政安定化基金拠出金、科目存置のため特に説明はありません。4款1項1目、介護予防・生活支援サービス事業費、予算現額853万8000円に対し、支出済額674万3051円、不用額179万4949円です。13節、通所型サービス業務委託料331万7010円ですが、社会福祉協議会に委託をしています、はっちゃきクラブにかかる部分です。延べ1171名の利用実績となっています。訪問型サービス業務委託料、訪問ヘルパーです、163万4839円ですが、要支援者を対象とした事業で延べ77名の利用実績です。2目、一般介護予防事業費、予算現額53万3000円に対し、支出済額31万7870円、不用額21万5130円です。65歳以上の高齢者のおたししゃ健診、頭部の健康教室、健脚クラブ、老人クラブでの口腔機能向上事業などを実施しています。実績、おたししゃ健診99名、頭部の健康教室、6月から11月の期間中24回開催し6名参加、延べ135名。健脚クラブ、登録者24名、年13回開催し、口腔機能向上事業については、4回開催となっています。2項1目、包括的支援事業費、予算現額735万4000円に対し、支出済額705万3700円、不用額30万300円です。13節、生活支援体制整備事業活動業務委託料330万円ですが、北部地区地域づくり拠点施設の生活支援コーディネーター2名、昨年9月からスタートした南部地区地域づくり拠点施設の生活支援コーディネーター1名の活動業務に対する委託料です。2目、任意事業費、予算現額20万円に対し、支出済額9万8902円、不用額10万1098円です。対象者1名に対しての助成です。3項1目、審査支払手数料、特に説明はありません。5款1項1目、基金積立金、予算現額473万7000円に対し、支出済額473万5933円、不用額1067円です。特に説明はありません。6款1項1目、第1号被保険者保険料還付金、特に説明はありません。2目、償還金、予算現額812万5000円に対し、支出済額739万4166円、不用額73万834円です。23節、補助金等返還金739万4166円ですが、平成30年度の交付金等の額の確定による返還金となっています。7款1項1目、利子から8款1項1目、予備費まで特に説明はありません。歳入、6ページ、7ページをお開き下さい。1款1項1目、第1号被保険者保険料、以下、現年度分、過年度分の合計額で説明をします。調定額3025万2786円、収入済額3016万1186円、収入未済額9万1600円、前年比7.5パーセントの減です。収入未済額9万1600円ですが、平成29年度分、2名分です。この内、9月30日時点で4万2670円が納入済みとなっています。今後も徴収に努めていきたいと思っていま

す。2款1項1目、介護給付費負担金、調定額、収入未済額共に3440万9000円、前年比13.3パーセントの減です。2項1目、調整交付金、調定額、収入未済額共に1377万9000円、前年比1.1パーセントの減です。2目、地域支援事業交付金、調定額、収入未済額共に487万2290円、前年比31.5パーセントの減です。介護予防日常生活支援事業費の20パーセント、包括支援事業の38.5パーセントの交付となっています。3目、事務費補助金、調定額、収入未済額共に102万8000円、介護保険システム改修費に対する補助金です。4目、保険者機能強化推進交付金、調定額、収入未済額共に13万9000円です。保険者努力支援分です。3款1項1目、介護給付費交付金、調定額、収入未済額共に3988万1000円、前年比2.4パーセントの減です。2目、地域支援事業交付金、調定額、収入未済額共に158万3000円、前年比39.7パーセントの減です。対象経費の27パーセントが交付をされました。4款1項1目、介護給付費負担金、調定額、収入未済額共に1975万6670円、前年比2.5パーセントの減です。2項1目、地域支援事業交付金、調定額、収入未済額共に227万9770円、前年比33.5パーセントの減です。介護予防日常生活支援事業費の12.5パーセントの、包括支援事業費の19.25パーセントの交付となっています。5款1項1目、利子及び配当、調定額、収入未済額共に4412円、特に説明はありません。6款1項1目、一般会計繰入金、調定額、収入未済額共に2711万3426円、前年比5.2パーセントの減です。2項1目、基金繰入金、繰入金がありませんでした。7款1項1目、繰越金、調定額、収入未済額共に、1285万5687円、前年度繰越金となっています。8款1項1目、第1号被保険者延滞金から3項1目、雑入まで特に説明はありません。

○委員長（中村雅義君） 説明が終わりました。これから質疑に入ります。

歳出 12ページ、13ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 12ページ、13ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 14ページ、15ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 16ページ、17ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 18ページ、19ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 20ページ、21ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 22ページ、23ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 24ページ、25ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 26ページ、27ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（中村雅義君） 28 ページ、29 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 30 ページ、31 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 32 ページ、33 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 歳入 6 ページ、7 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 8 ページ、9 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 10 ページ、11 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 歳入、歳出全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） それでは介護保険特別会計の質疑を終了いたします。
暫時休憩をいたします。

休憩 午前 9時45分

再開 午前 9時54分

◎一般会計 歳出 審査の開始（地域振興室所管）

出席者：地域振興室長（新江和夫君）、企画調整係長（伊藤宗徳君）

- 委員長（中村雅義君） 一般会計 歳出「2款 総務費、6款 農林水産業費、7款 商工費」を一括して審査を行います。

説明の発言を許します。

- 地域振興室長（新江和夫君） 地域振興室長。

- 委員長（中村雅義君） 地域振興室長。

- 地域振興室長（新江和夫君）

歳出、52 ページ、53 ページをお開き下さい。2款 1項 2目、企画費、予算現額 4028 万 1000 円に対し、支出済額 3892 万 2904 円、不用額 135 万 8096 円です。1 節、特に説明はありません。9 節、特別旅費 11 万 9760 円ですが、上川町村会が主催する東京 23 区町村会連携事業として東京池袋サンシャインシティにて幌加内物産展と上川管内の参加市町村と共同で出店をしています。それに伴う旅費となっています。11 節、お試し住宅の関連、ほろみん号の関連になります。修繕料 41 万 8943 円ですが、お試し住宅の屋根塗装 18 万 6084 円と水道管修理 23 万 2859 円です。お試し住

宅については、主要な政策の成果 2 ページに記載をしていますが、体験実績 3 件、5 名の方が 47 日間利用をしています。12 節、特に説明はありません。13 節、JR 跡地地籍測量業務委託料 2930 万 4000 円ですが、主要な政策の成果 2 ページに記載をしていますが、今年は大曲から母子里間、追加で事業を行っている 3 地区で合計 10.85 キロメートル、50 筆、23 万 6453 m²の測量をしています。平成 27 年から令和元年度までの 5 ヶ年事業として積測量を行っています。実績として、5 ヶ年トータルの総事業費として 1 億 3397 万 4000 円を要しており、その財源内訳として、過疎債のソフト事業を主に財源とした基金を繰入れしています。基金繰入が 1 億 3249 万 4057 円、一般財源の持ち出しとして 147 万 9943 円となっています。地籍測量業務については、昨年度で終了をしていますが本年度、その成果に基づき分筆測量と所有権移動登記を現在執行しているところです。年度内には所有権移動登記まで全て完了し、この事業が終了する予定となっています。ほろみん号運行業務委託料 477 万 9300 円ですが、主要な政策の成果 2 ページに記載をしていますが、ほろみん号運行の実績として、往路 811 人、復路 674 人、合計 1485 人の利用がありました。内訳は、一般 344 人、高齢者 924 人、障害者 217 人の利用で運行日数 226 日間の運行となっています。令和元年度については、2 月以降、新型コロナウイルスの影響もあり運行日数の減少、それと利用者の減少となっています。14 節、特に説明はありません。19 節、企業立地促進補助金 1 万 9586 円ですが、平成 24 年の事業で三津橋産業チップ工場の設備資金の借り入れに対する利子補給 8 年間を実施していたところです。令和元年度で 8 年目を向え終了となっています。夢・人・郷づくり事業補助金 68 万 8381 円ですが、農林水産省への、そばの PR 事業、職員交流事業で 36 万 3761 円、ほか 4 件を執行しています。4 目、財政管理事務運営費、ふるさと納税の運営費となっています。令和元年 7 月からふるさと納税の担当が、総務課管財係から地域振興室ふるさと納税係へ移行されています。予算現額 1233 万 1000 円に対し、支出済額 1170 万 9149 円、不用額 32 万 1851 円です。ふるさと納税の実績について、件数 1458 件、金額 2259 万 1200 円が令和元年度の実績となります。平成 30 年度の比較で 177 件の増、198 万 2200 円の増となっています。また、財産に関する調書でも記載していますが、ふるさと納税を原資とする、まちづくりふるさと応援基金の現在高が 3114 万 3200 円となっています。参考までですが、今月 10 月 16 日現在で昨年実績の 2259 万 1000 円を超える入金を頂いているところです。8 節、物産品宣伝費 48 万 4000 円ですが、昨年、毎日新聞社、読売新聞社へ新聞広告を 2 件出しています。11 節から 14 節まで特に説明はありません。5 目、財産管理費、予算現額 2701 万円の内、28 万 5000 円に対し、支出済額 2482 万 6786 円の内、188 万 9163 円、不用額 218 万 214 円の内、9 万 6037 円が地域振興室所管の車両分となります。9 節から 27 節まで特に説明はありません。76 ページ、77 ページをお開き下さい。13 目、地方創生事業費、地域おこし協力隊、そば振興係、地方創生総合戦略事業の費目がメインとなっています。そば振興係については、令和元年度まで地域振興室で所管をしていましたので、説明をします。予算現額 1678 万 6000 円に対し、支出済額 1557 万 9969 円、不用額 120 万 6031 円です。7 節、臨時雇賃金 780 万円ですが、地域おこし協力隊 4 名分の支出となっています。8 節、物産品宣伝費 20 万 1516 円ですが、横浜バイクオーターでそばの PR イベントとして開いた関係のノベルティ及び日本観光特産大賞の受賞を記念した PR 用のシールを作成しています。講師謝礼 86 万 4000 円ですが、上杉大使が横浜バイクオーターでのイベントに参加をされており、そちらの参加謝礼となっています。9 節、普通旅費 41 万 7300 円ですが、主なものとしては、そば道場の先進地視察として職員 1 名を随行していま

す。長野県、埼玉県の方へ出張をしています。特別旅費 55 万 4980 円ですが、主なものとしては、横浜ベイクォーターでのイベントに職員 3 名を出張させております。それ以外も各イベント又は農林水産省との打ち合わせ等に出張をしているものです。11 節では、日本観光農業大賞を受賞記念した懸垂幕 2 本を作成し 6 万 6000 円を支出しており、その他あわせて 10 万 5134 円となっています。12 節、広告料 57 万 9700 円ですが、地域おこし協力隊の募集広告 2 回実施をしています。全額特別交付税措置がある内容となっています。14 節、車両借上料 268 万 8228 円ですが、協力隊のリース車 3 台分のリースとなっています。借家料 101 万 100 円ですが、地域おこし協力隊 3 名分の家賃となっています。19 節、そば普及助成事業補助金 8 万 3700 円ですが、主要な政策の成果 3 ページに記載をしていますが、6 事業所で 279 枚の券を発行しており、1 枚 300 円の券となりますが、そばの日の PR を行っています。地方創生運営事業補助金 97 万 4430 円ですが、フリージャーナリストの中村美彦先生を顧問とした地方創生事業の支出です。去年は幌加内診療所の森崎先生が中村先生の臥竜清談の収録を行って放映をしています。その他特に説明はありません。152 ページ、153 ページをお開き下さい。6 款 1 項 3 目、農業振興費、部分的な支出となります。19 節、全国麺類文化地域間交流推進協議会負担金 10 万円から社団法人日本蕎麦協会年会費 5 万円、そば活性化協議会助成金 81 万円の 3 項目が所管となりますが、特に説明はありません。178 ページ、179 ページをお開き下さい。7 款 1 項 2 目、観光費、19 節、イベント協賛交付金 376 万 2400 円の内、そば祭りの方に 360 万円を支出しています。

○委員長（中村雅義君） それでは説明が終わりました。これから質疑に入ります。

「2 款 総務費、1 項 総務管理費、2 目 企画費」52 ページから質疑を受けます。

52 ページ、53 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 54 ページ、55 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 56 ページ、57 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 58 ページ、59 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 76 ページ、77 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 78 ページ、79 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 2 款、全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 「6 款 農林水産業費、1 項 農業費、3 目 農業振興費」152 ページから質疑を受けます。

152 ページ、153 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

154 ページ、155 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (中村雅義君) 6 款、全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (中村雅義君) 「7 款 商工費、1 項 商工費、2 目 観光費」180 ページから質疑を受けます。

180 ページ、181 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (中村雅義君) 7 款、全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長 (中村雅義君) これで、地域振興室所管の質疑を終わります。

暫時休憩をいたします。

休憩 午前10時14分

再開 午前10時29分

◎一般会計 歳入 審査の開始

出席者：町長 (細川雅弘君)、副町長 (大野克彦君)、総務課長 (村上雅之君)、
産業課長補佐 (清原吉典君)、建設課長 (宮田直樹君)、住民課長 (山本久稔君)、
保健福祉課長 (竹谷浩昌君)、会計管理者 (蔵前裕幸君)、地域振興室長 (新江和夫君)、
教育委員会次長 (内山渉君)

○委員長 (中村雅義君) 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。一般会計 歳入の審査を行います。説明の発言を許します。

○総務課長 (村上雅之君) 総務課長。

○委員長 (中村雅義君) 総務課長。

○総務課長 (村上雅之君)

歳入、10 ページ、11 ページをお開き下さい。1 款 1 項 町民税、1 目、個人であります調定額 7454 万 5284 円に対し、収入済み額 7304 万 7081 円、不能欠損額 10 万 8528 円で収入未済額 138 万 9675 円ありますが 対前年度で 11.4%の減、収納率で 98.0%であります。不能欠損は全部で 8 件分となり本人死亡等確実に収納が見込まれないものにつき不能欠損処分をしております。滞納繰越については現年、過年度合わせて 80 件となっております。2 目、法人ですが調定収入共に 914 万 7200 円で対前年比マイナス 2.8%となっております。2 項 1 目、固定資産税ですが調定額 6677 万 800 円に対し、収入済み額 6585 万 2200 円、不能欠損額 16 万 6500 円で収入未済額 75 万 2100 円ありますが対前年度で 0.9%の増加、収納率で 98.6%であります。不能欠損は全部で 20 件分

です。これも町道民税と同様本人死亡等、確実に収納が見込まれないものにつき不能欠損処分をしております。滞納繰越については現年、過年合わせて 56 件となっております。2 目、国有資産等所在市町村交付金ですが調定収入共に 472 万 5800 円です。対前年度 0.3%の減となっております。3 項 1 目、軽自動車税ですが調定額 499 万 7000 円に対し、収入済み額 485 万 1900 円、不能欠損額 2 万 5600 円で収入未済額 11 万 9500 円ではありますが対前年度で 0.1%の減額、収納率で 97.1%であります。不能欠損は 5 件分で、5 年の経過によるものにつき不能欠損処分をしております。滞納繰越については現年、過年合わせて 14 件となっております。4 項 1 目、たばこ税ですが調定収入共に 511 万 7653 円で、対前年度 8.6%の減となっております。5 項 1 目、入湯税ですが調定収入共に 123 万 7530 円で、対前年度 22.1%の減となっております。これは昨年 10 月からの温泉施設改修による休館に伴うものと思われま。利用者数は 1 万 7679 人であります。2 款、地方譲与税、1 項 1 目、地方揮発油譲与税ですが調定収入共に 1909 万 8000 円で、対前年度 11.5%の減となっております。2 項 1 目、自動車重量譲与税ですが調定収入共に 5500 万 5000 円で、対前年度 3.5%の増となっております。3 項 1 目、森林環境譲与税ですが調定収入共に 181 万 6000 円で、これは平成 31 年度より新設されたものであります。4 項 1 目、地方道路譲与税ですが、これについては調定収入共に 7 円です。地方道路譲与税ですが、これはすでにこの制度は廃止され、先に説明をした地方揮発油譲与税に制度改正されておりますが、過去の滞納分で収入があった場合に国から分配されるもので昨年は 7 円あったものです。3 款 1 項 1 目、利子割交付金ですが調定収入共に 16 万 5000 円で、対前年度 5.0%の減となっております。4 款 1 項 1 目、配当割交付金ですが調定収入共に 54 万円で、対前年度 21.6%の増となっております。5 款 1 項 1 目、株式等譲渡所得割交付金ですが調定収入共に 35 万 3000 円で、対前年度 8.3%の減となっております。6 款 1 項 1 目、地方消費税交付金ですが調定収入共に 2936 万 7000 円で、対前年度 5.4%の減となっております。7 款 1 項 1 目、自動車取得税交付金ですが調定収入共に 908 万 2864 円で、対前年度 46.7%の減となっております。これは次に説明をします環境性能割へ変更されたもので、昨年 10 月までの自動車取得税交付金という事なので、これだけ減額になっています。2 項 1 目、自動車税環境性能割交付金ですが調定収入共に 184 万 2000 円で、これが昨年の 10 月年度途中から創設された交付金となります。先ほどの自動車取得税交付金に代わるものであります。8 款 1 項 1 目、地方特例交付金ですが調定収入共に 141 万 9000 円で、対前年度 715.5%の増となっております。2 項 1 目、子供・子育て支援臨時交付金ですが調定収入共に 92 万 9000 円で、これも昨年の年度途中から創設された交付金で消費税が 8%から 10%への引き上げに伴う社会保障経費として子供子育てに活用すべく創設されたものであり、皆増となります。9 款 1 項 1 目、地方交付税ですが調定収入共に 22 億 7164 万 3000 円で、対前年度 2.8%の増となっております。これは償還金が増えたことによる増であります。10 款 交通安全対策特別交付金は収入がありません。11 款、分担金及び負担金です。1 項 1 目、分担金ですが調定額 4418 万 2351 円に対し、収入済み額 4119 万 2525 円、収入未済額 298 万 9826 円であります。対前年度で 5.1%の減、収納率で 93.2%であります。収入未済額はここにあるように南幌加内地区総合農地開発事業分の 5 件分で 298 万 9826 円の収入未済となっております。この金額については、本年 9 月によりやく入金され現在未収分はなくなっております。2 項 1 目、負担金は収入ありません。12 款、使用料及び手数料です。1 項 1 目、総務使用料ですが調定収入額共に 832 万 2785 円であります。対前年度で 1.6%の増であります。2 目、民生使用

料ですが調定収入額共に 3058 万 6829 円であります。対前年度で 8.4%の増であります。3 目、衛生使用料ですが調定収入額共に 9386 万 2792 円であります。対前年度で 2.5%の減であります。4 目、農業使用料ですが調定収入額共に 3025 万 9418 円であります。対前年度で 435.3%の増であります。これは昨年繰り延べた農産施設の使用料が今年度は収入されたものであります。5 目、商工使用料調定収入額共に 4 万 2000 円であります。対前年度で 69.4%の増であります。6 目、土木使用料調定額 4569 万 7020 円に対し、収入済み額 4560 万 2520 円で収入未済額 9 万 4500 円であります。対前年比 7.8%の減です。この収入未済については、住宅使用料 3 件の未収入であります。7 目、教育使用料、調定収入額共に 98 万 8950 円であります。対前年度で 10.2%の減であります。2 項、手数料ですが、1 目、総務手数料、調定収入ともに 123 万 900 円です。対前年度 2.3%の減であります。2 目、衛生手数料で調定額 1255 万 4054 円に対し、収入額 1253 万 6724 円で収入未済額 1 万 7330 円ありますが昨年同様ごみ袋代金の未回収分であります。対前年度 2.9%の増となっております。3 目、農業手数料、調定収入ともに 11 万 2400 円です。対前年度 35.7%の減であります。4 目、教育手数料、調定収入ともに 136 万 2600 円です。対前年度 14.4%の減であります。13 款、国庫支出金、国庫負担金と国庫補助金・委託金を合わせて調定収入共に 3 億 6911 万 7627 円で、対前年度 173.4%の増となっております。大きなものは、民生費国庫補助金でプレミアム付商品券の事業費補助の皆増、衛生費国庫補助金の感染症予防事業費等補助金の皆増、循環型社会形成推進交付金で 700 万円ほどの増、土木費国庫補助金の社会資本整備総合交付金で 4300 万円ほどの増、総務費国庫補助金の地方創生推進交付金及び地方創生拠点整備交付金、明許繰り越し分の皆増であります。14 款、道支出金、道負担金と道補助金・委託金を合わせて調定収入共に 2 億 8716 万 4436 円で、対前年度 25.6%の増となっております。大きなものとしては、道補助金の民生費補助金で地域医療介護総合確保基金介護人材確保対策補助金の皆増、農業費補助金で、食料供給基盤強化特別対策事業補助金の皆増、農業経営高度化促進事業補助金の皆増、産地パワーアップ事業補助金の皆増、機構集積交付金の皆増、林業費補助金で森林環境保全整備事業補助金の皆増であります。なお、13 款、14 款につきましては歳出で関連説明がそれぞれあったかと思しますので、細かい説明を省略させていただきます。15 款、財産収入については調定収入共に 2915 万 2279 円で、対前年度 240.3%の増となっております大きな要因としては、2 項 1 目不動産売り払い収入の 214 万 6000 円、幌加内の宅造地 2 件、下幌加内地区の公住跡地 1 件を売り払ったもの及び生産物売払収入で竹木の売り払いですが、林務で行った事業に伴う木材の売り払い代金が要因となっております。16 款 1 項、寄付金ですが 1 目、一般寄付で調定収入共に 132 万円、3 件の一般寄付です。2 目、使途指定寄付金で調定収入共に 2259 万 1200 円で、対前年度 9.6%の増となっております。ふるさと納税ですが 1458 件で前年より 177 件ほど多くなり、内訳は町長にお任せが一番多く 689 万 2200 円、ついでイトウの保護、660 万、000 円、子育て支援 411 万 3000 円、そば振興 330 万 4000 円、朱鞠内湖周辺整備 167 万 8000 円となっております。17 款、繰入金、1 項 1 目基金繰入金ですが調定収入共に 7025 万 1094 円で、対前年度 74.1%の減となっております。昨年は当初予算不足による財政調整基金の取り崩しを見込んでおりましたが、実際には除雪費の減額などにより、大きな取り崩しの必要がなくなったため大幅な減額となったものであります。18 款、1 項 1 目、繰越金ですが調定収入共に 1 億 2653 万 367 円です。対前年度 42.4%の増となっております。特に説明はありません。19 款、諸収入ですが調定収入共に 8019 万 1423 円です。対前年度 6.0%の減とな

っております。大きなものは雑入の資源ごみの売却代金の減及び学校給食費収入の大幅な減が要因であります。その他特に説明はありません。20 款、町債ですが目ごとの説明は省略させていただきますが、全体で7億2699万1000円の借入れを行っております。対前年度122.6%の増となっております。内訳では、過疎債で14件、4億130万円、辺地債で1件、2760万円、補正債で3件、2億3,500万円、臨時財政対策債で1件、6139万1000円、一般廃棄物処理事業債1件、3320万円です。大きな要因は、そば産地活性化振興事業債の皆増、一般廃棄物処分場整備事業債の皆増、町民保養センター整備事業債、明許繰越の皆増、除雪機械購入事業債の皆増、東3条線道路整備事業債の皆増、町民プール建設事業債の皆増が要因です。4ページ、5ページをお開きください。一般会計歳入調定額45億1278万2663円に対して収入済額45億711万9104円で、不能欠損額30万628円、収入未済額536万2931円となります。1ページをお開き下さい。歳入歳出差し引き残額9793万4242円から繰越明許額32万5000円を差し引いた9760万9242円を実質収支として決算した所であります。以上で一般会計歳入の説明を終わります。

○委員長（中村雅義君） それでは説明が終わりました。これから質疑に入ります。

1 款、町税 10 ページ、11 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 12 ページ、13 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 14 ページ、15 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 16 ページ、17 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 18 ページ、19 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 20 ページ、21 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 22 ページ、23 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 24 ページ、25 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 26 ページ、27 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 28 ページ、29 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 30 ページ、31 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 32 ページ、33 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（中村雅義君） 34 ページ、35 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 36 ページ、37 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 38 ページ、39 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 40 ページ、41 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 歳入全般について質疑を受けます。質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 一般会計歳入の質疑を終わります。
暫時休憩をいたします。

休憩 午前10時57分

再開 午前10時58分

◎討 論

- 委員長（中村雅義君） これより討論、採決に入りますので、理事者ならびに職員はそのまま、お待ち下さい。休憩前に引き続き会議を開きます。
これから会計ごとに順次討論を行います。
まず始めに、令和元年度幌加内町一般会計決算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 討論なしと認めます。
次に、令和元年度幌加内町国民健康保険特別会計の決算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 討論なしと認めます。
次に、令和元年度幌加内町後期高齢者医療特別会計決算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 討論なしと認めます。
次に、令和元年度幌加内町介護保険特別会計決算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 討論なしと認めます。
次に、令和元年度幌加内町簡易水道事業特別会計決算について討論ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 討論なしと認めます。
次に、令和元年度幌加内町下水道事業特別会計決算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 討論なしと認めます。

次に、令和元年度幌加内町奨学資金特別会計決算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 討論なしと認めます。

◎採 決

○委員長(中村雅義君) これから会計ごとに順次採決を行います。

この採決は挙手により行います。

まず始めに、令和元年度幌加内町一般会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和元年度幌加内町国民健康保険特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和元年度幌加内町後期高齢者医療特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和元年度幌加内町介護保険特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和元年度幌加内町簡易水道事業特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和元年度幌加内町下水道事業特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和元年度幌加内町奨学資金特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

以上をもちまして本委員会に付託された議案第 63 号、令和元年度幌加内町各会計歳入歳出決算認定の審査は全部終了いたしました。なお、議長への審査結果報告につきましては、委員長に一任願います。

◎閉会あいさつ

○委員長（中村雅義君）

決算審査特別委員会を閉会するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

令和 2 年 9 月 10 日開催の第 3 回議会定例会において、決算審査特別委員会に付託となりました議案第 63 号 令和元年度幌加内町各会計歳入歳出決算認定について、当委員会はそれぞれ決算書及び付属書類等に基づき慎重に審査した結果、認定すべきと決定したところであります。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、町の財政状況は今後もますます厳しい状況が続くことと思われれます。町長以下、執行機関におかれましては、今後とも最小の経費で最大の効果が得られるような予算編成にご尽力くださいますようお願い致します。

委員各位におかれましては、限られた時間の中で、膨大な決算の審査にあたられたご苦勞に感謝致しますとともに、不慣れな議事進行にご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます、簡単ではありますが閉会にあつたてのご挨拶と致します。

○事務局長（加藤誠一君） それでは町長から、ごあいさつをいただきたいと思います。

○町長（細川雅弘君）

決算審査特別委員会閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

10 月 23 日よりご審議を賜りました決算審査特別委員会、今ほど討論を得まして採決、認定すべきとの事で合意を得ました。厚く御礼申し上げます。

昨日、久々に全道の町村長の集まりがあり、いろいろお話をさせてもらいました。コロナ対策はどれも大変です。なおかつ来年度から新過疎法が改正されるとの事で、上川管内においては鷹栖町、富良野市が過疎の卒業をするのではないかと、過疎債の借り入れができなくなる可能性が非常に高いという事で財政が成り立たないのではないかとのお話しもしていました。分科会では、向か側の空知では月形町、ここは監獄所の関係で人口が減っていない。ここもまた卒業するのではないかと思われています。本来であれば人口が減らないという事で拍手すべきところですが、一転して過疎債の借り入れができないとの状況を伺ったところであり、これからの地方財政も大変厳しい局面を迎えるのかと改めて感じたところです。

来年以降の予算編成等についても、各位の知恵を拝借しながら編成をしていきたいと考えているところです。今後ともよろしくようお願い申し上げます、決算にあつたてのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○事務局長（加藤誠一君） ありがとうございます。

以上をもちまして、決算審査特別委員会を閉会させていただきます。大変ご苦勞様でした。

閉会 午前 11 時 06 分